

第4回山形市中心市街地活性化戦略本部会議議事録

1 開催日時 平成29年8月9日(水)午後3時00分～5時00分

2 会場 山形市役所 11階 大会議室

3 出席者

(1) 本部員8名

山形市長		佐藤 孝弘
山形商工会議所	会頭	清野 伸昭
山形市中心商店街まちづくり協議会	会長	多田 一夫
山形市観光協会	会長	平井 康博
山形青年会議所	理事長	武田 靖裕
山形大学	教授	山田 浩久
城下町やまがた探険隊	代表	新関 芳則
NPO 法人やまがた育児サークルランド	代表	野口 比呂美

(2) 山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター

まちづくりプラン研究所 代表 牧 昭市

(3) 事務局15名

商工観光部長、山形ブランド推進課長、山形ブランド推進課課長補佐、
街なか・商業グループリーダー、街なか・商業グループ員(3名)、
山形商工会議所(6名)、
山形商工会議所まち賑わい委員会委員長、
山形市中心商店街街づくり協議会副会長

(4) 調査実施機関3名

(株)山形街づくりサポートセンター社長、山形市中心市街地活性化事業部長、
事務員

4 傍聴者

記者：3名

5 内容

(1) 協議

- ・平成30年度実施予定の事業及び実施体制について
- ・その他

6 資料の名称

資料1 まちづくり事業、エリアマネジメント体制（案）

資料2 出店サポートセンター事業（テナントミックス事業）

資料3 情報発信アプリ・サイト構築事業

7 議事録

(1) 開会 (山形ブランド推進課長)

(2) 市長あいさつ

(3) 議事録署名人の指名 (本部長)

清野 伸昭 本部員

多田 一夫 本部員

(4) 協議 (内容は以下のとおり)

座 長 「平成30年度実施予定の事業」や「まちづくり事業、エリアマネジメントの体制」について、資料をもとに皆さんと協議を行っていきたいと思う。
ここからは、牧コーディネーターよりご説明いただきながら、進行の方もお願いしたい。

コーディネーター («平成30年度実施予定の事業」及び「まちづくり事業、エリアマネジメントの体制」について説明)

本 部 員 岩国市もいろいろなサイトが既にあるのが確認できるが、この「ぶち岩国」というサイトは、現存のサイトとはどのような扱いになるのか。

コーディネーター 岩国も、今は4つの観光協会のページがあり、複走した状態ある。先々月くらいに「ぶち岩国」が完成し、今お披露目をした状態のため、観光関係の情報も含め、観光協会が「ぶち岩国」の中に情報を入れ込む作業をやっている最中である。これらが全部終わると、今の観光協会のページをクローズドしていくということになる。

本 部 員 私もこういう提案をして実際にやると、結局サイトが1つ増えるだけで混雑している状況に変化がない。順次データを移していくということをなかなかしてもらえず、非常に非効率的なので、既にあるサイトを結びつけるポータルを作り、そこに行けば今あるサイトに飛べるという仕組みを作るだけでも、費用が10分の1で収まる。人的な労力もなくなり、新たにサーバーを立ち上げ、データベースをそこに移すというよりは、今あるサイトを利用して窓口になるようなポータルを1つ立ち上げるだけで、同じ機能になると思うのだが。

コーディネーター	<p>何通りかの考え方はあると思う。現状のサイトをリンクだけで紐付けを行うことも可能かと思う。だが、1つの検索の中で、それらが全部検索できるかという点、正直できにくいのではないかと。</p> <p>もう1つが、観光面の部分で、英語表記の部分を書き換える際、それぞれのサイトにロボットが入っていき、書き換えていながらリンクで処理ができるかという点、なかなか難しいのではないかと。思うところでの提案である。</p>
本 部 員	<p>実際にやっていただけたらわかると思うが、英語のロボットを入れても観光はまずほとんど無理である。地名が絶対無理なのと、店舗の名前は特殊なので、ロボットは認識しない。</p> <p>検索エンジンはポータルサイトに反応するので、それぞれのサイトの中のワードを総合的に検索できるようなエンジンを積むだけで克服ができるため、単にURLを貼り付けて、そのページに飛ぶというだけではない。それでも、新たにサーバーを作り、データベースを構築するよりは安く済む。</p> <p>結局これをやると、5つあったサイトが6つ出来上がるというだけのことであって、後々うまくいかないというのが僕の今まで見てきた中での感覚である。</p> <p>そのため、今はフェイスブックやツイッターといったものをリンクしないと、情報は発信できない。観光客はホームページを見てくる客であり、外国人は特にフェイスブックやツイッターである。そちらでうまく情報発信しないと、なかなか有効性を発揮できないのではないかと。</p> <p>だから、これはもう少し考えた方がいいと思う。</p>
コーディネーター	<p>この情報発信に関しては、いろいろな手法があると思う。今回はあくまでこういう情報の部分も一本化ができるという部分を含めたご提案である。</p> <p>実際、今、山形県ベースでこれと同じような仕組みを作っているという流れがあるようにもお聞きをしている。</p> <p>最終的にどういう方向がベストなのかというところは、まだまだ検討していく必要があるかと思う。</p>
本 部 員	<p>ジンギスカンを食べたいとなった時、蔵王だよということになる。中心部だけの絞り込みでは魅力がないのではないかと。</p> <p>各々がパンフレットを作り、案内をしている。そうではな</p>

く、全部1つにまとめたところとは非常にわかるのだが、エリアをどうしていくか。これが非常に難しくなっていくのではないかなど。

コーディネーター 最近は確かに発信していることがたくさんある。ただ、中心部の店が全部集約されているものというの実はない。山形市全体を取りまとめているお店だけを見ても、それは実はない。

観光協会の方でやられているものも、観光とお店というのが若干あるが、当然、会員さんのところの枠があり、何を見ても不完全な状態が今のところかと。

どれくらいの範囲でやっていくべきなのかと言われたが、まちづくり関係の情報収集という中で、お店は当然調査に入らなければならない。その際、後継者についても併せて調査をかけていくと、よりいい情報が集約できるのではないかと考えている。

本 部 員 ネット上での情報発信は、若い人に対してのアピールで必ずやらなければならないと思う。

実際にいらっしゃる方から、近くで食事ができる場所はありませんかと聞かれるが、その方の求めるお店に繋ぐのにとっても苦労しているという現状があるので、何らかの形ではしていただきたいと思う。

あと、最後にサイトをまとめていくことで、管理しているページが安くできるのではないかとお話しがあったと思うが、実際にそれぞれが持っているサイトの運営経費よりも極端に安くなるというのは、どういった仕組みになるか。

コーディネーター お金のところから話をすると、組織毎、どこかのプロバイダーと契約をしてやっていますよね。それぞれのお店の情報を、こっちのホームページに入れようとする、一定に専門の知識がないとページが作れないページと、例えばワードとエクセルが使える、写真をパソコンに選択することができればページが出来上がるような、システム化したものと2種類ある。前者の場合は、どこかに委託して、新しく情報を書き換えるという委託費がかかると思う。拝見していると、過半数以上のサイトが、外部に委託されているという仕組みで動いているようだったので、その部分の経費が、ワード・エクセルとパソコンの写真を選択できれば、更新できるという仕組みに変わるので、そういう意味

では、お金は若干下がっていくのではないかと思います。
ただ、情報の発信をする部分で、登録する方々の総人件費を含めて下がるかという、そんなことではないとご理解いただけたらと思う。

あとは、子育て関係の部分で紐づけしていかないといけないものが、子どもを連れて入れる飲食店というところ。
私も実際に集約をかけていく中で、そのお店がどこかで無くなったとか、常に管理していかなければならない。それをキーとなるところがしっかりやらないと、情報が更新されないという状況が起こりうると思っている。

本 部 員 私自身もポータルサイトを一元的な管理をするところが必要かなと思っている。様々な情報を一元管理すると利用者も使いやすいと思っている。
ただ、その一方で、観光や飲食店とかに限れば、どうしてもチェーン店と山形ですっと老舗でやられている飲食店が並列的に並ぶことになる。行政や観光協会では仕方がないと思っているところですが、民間の観光サイトとの住み分けという部分について、どのように考えているか。

コーディネーター そこは、カテゴリーの作り方もあるかと思う。
例えば、「和食のお店」で一列には並ぶけれども、「ご当地名物」というものがあって、「ご当地名物」というのがチェーン店にはない。そして、地元のお店にあるのであれば「ご当地名物」でくくり、それを「観光」の入り口の方に作ってしまえば、「観光」で見ると「ご当地名物」を「グルメ」から見ると「観光」から見ると「ご当地名物」に出てくるという仕組みでいいのではないかと思います。
あとは、ランキングはいろいろな出し方ができる。今自分がいるところから近い順にお店を表示するというのもできれば、アクセス数の高い順に並び替えを行うこともできる。それは、利用者側がどういうふうに並べ替えをするかによってできるかと思う。

本 部 員 今2つの事業を提案いただいたわけですが、その他に戦略本部として検討していく事項というのは、その他にどのようなものをお考えですか。

コーディネーター 次にゾーニングの話が出てくるが、まずはゾーニングの部分を、こういう方向性でどうであろうかというところのお

およその承認が頂けたらとする。そうすると、その部分をもって各関係組織に対し、その説明に動いていく。そこでまた一定のご承認をいただく中、そこからゾーンごとの事業の部分を、この戦略本部の方に上げてきて、情報を早めに見せるところも含めて、集約をしなければならないというところで、「出店サポート」というところと、観光を含め、「情報の発信」を強化していくというところ。この2つを早めに動かしておこうというところでご提案をしていく。

その他の、ゾーンごとの事業展開に関しては、おおよそのゾーンをお決めいただく中、事業の掘り起こしをご提案させていただこうと考えているのが現状である。

座長 資料2についてもまだ案として出ていますが、これについてはいいですか。

本 部 員 資料1のところですが、まちづくり検討組織が紫色の枠で出ていますが、そもそも山形市民が中活にどう関わっているのか。私からすると、常にこういうところに学生も入り込めるような枠組みがあると、学生も参加しやすいという感じがするのですが。

本 部 員 私も同じと言いますか、やはり中心市街地活性化っていうのは、市民の皆さんからの関心をどうやって集めていくかというのがすごく大事かと思う。ですので、各種まちづくり団体というところに各分野のNPOとか、関心のある人に関わってもらえるような言葉遣いをしてほしいと思う。

コーディネーター 事務局はどうか。
市民に広げるところは。

事務局 (戦略本部) まちづくりを考えていくうえで、支持を得ることは大変重要な部分だと思う。
この図の中には出てきていないが、今後何かしら意見を聞く機会を設けていかなければならないと考えている。

座長 今の話ですが、このまちづくりは何のためやっているのかと言うと、市民のためにやっているわけですが、全体として、25万人で議論をしていかないといけないかと言うと、それは不可能であるで、こういう会議を開いていると理解している。

私も市長なので、日常的に30地区回って、市政懇談会とか、ご意見をフリーでいただく機会がたくさんあるけれども、そういうときに中心市街地はこうだという声は極力聞いているし、各種夏まつりや各地区の後援会においても、極力市民の皆さんが日々どのようなことを考えているのかということは聞いている。おそらく、今日いる皆さん、多田本部員なら日常でお店に買物に来られる方からいろいろなご意見を聞いて、そういう方々の意見も頭に入れつつ、今参加しているのではないかなと思っている。当然、多くの方のご意見を聞くのは大切だと思うし、今山田本部員がおっしゃったとおり、「若手の組織」に学生さんを入れるというのもすごくいいことだと思っているが、こうして、実際に決め事をして、それを進めていかなければならない中では、なかなか難しいと思う。具体的な考え方を山田本部員、子育てなら野口本部員から、具体的にご提案をいただくというように感じた。

本 部 員 ですので、先ほどの話になるが、情報発信というのは、既に山のように発信されているので、情報受信の方を入れていただきたい。25万人がここに参加するというのは難しいと思うが、山形市や中心市街地に出している情報や、こういう会の設置の状況を、市民がどう捉えるかという情報を受信するような組織を作れないか。だから、ネットやツイッター、フェイスブックにそれを流して、返ってくるリツイートや友達登録を集約するようなデータベースを作る方が、情報発信を統括するような組織を作るよりもより有効ではなかろうか。情報を受信して、我々が流している情報が市民にとってどういうふうに感想を持たれたかというような部分を入れていくべきでないだろうか。我々もお店に行く際に、どこにそのお店があるかという情報よりも、そのお店に行った人がどういう感想を持ったかというような、感想の方を重視してお店に行くわけで、そういう情報の受信の部分を、このエリアマネジメントの体制の中に加えるというようなことを想定していた。

本 部 員 1つ目は組織のことで、住民の部分は皆さんご協議をされているとおりのような気がしており、それを集約して戦略本部という話をいただいたのだらうと思っている。2番目ですが、ゾーニングや空き店舗を含め、こういったところに、こういうパワーがある店舗が張り付いてくると、市がこう変わっていける、周辺の方々も集まれる。ま

た、来街者、県外からおいでになる方も、このパワーがあるのであればこの街に行ってみたい、立ち寄ってみたいというようなことを、議論するのが大事なのかなと思っていた。

あと、やはり山田本部員がおっしゃったように、店に来る前の段階で評価を見て、お客様はおいでになっているというのが現状なのかなという感じを受けている。

ですから、ホームページ上でのアピールはもちろんだが、山形市のことをもっと詳しく、具体的にリンクでどこへでも飛べるようにする、あるいはもっと詳細を載せるというのもありだと思っている。

ブランディングも含め、山形をどうしていくという手法だけではない、具体化があってもいいのかなと思った。

コーディネーター そういふ部分を含め、ゾーニングの部分があつて、その話にも繋がっていくと思っている。
ご意見をいただいたところは、次回で少しお話をさせていただけたらと思う。

本部員 市民のところの話ですが、本当に座長がおっしゃる通りだと思うので、私としては、資料1の下にある「各種まちづくり団体」のところ、「各種NPO・まちづくり団体」という表現になるだけでいいのかなと思う。

本部員 市民の声ですが、やはり夢だけを語られるような声が非常に多くなるかと思う。
それと、私の立場は、商業者も含めてだが、まさしく真ん中で住居も持っているし、一、生活をしている者として、市民の立場でも意見を言わせていただきたいと思っている。したがって、私もそういった立場でお話をさせていただいているということをお含みいただければと思う。

座長 資料1の「エリアマネジメント体制」というところで、市民の方を中心に、山田本部員がおっしゃったご意見を、やりながらフィードバックをしていく仕組みが必要だと思っているし、SNSは比較的できやすいのかなと思う。
そういうことを検討するというところでよろしいかなと。

では、次の議題に移らせていただく。

協議の「その他」のところに入らせていただく。

先程も申し上げたとおり、ここからは会議を非公開とさせ

ていただきますので、報道陣の皆様並びに傍聴者の皆様は
ご退席願えればと思う。

~~~~~ 報道陣・傍聴者退席 ~~~~~

以下、非公開部分

(5) 閉会 (山形ブランド推進課長)